

# けんびワークショップ【西条市】

～作品鑑賞や様々な創作活動を通しての発見～

## ◆活動の目的・理念

- 子どもの豊かな感性や表現力を養う
- 使ったことのない道具や材料を体験し、制作することの楽しさを味わう
- 芸術作品の鑑賞を通して、自分の意見を発表し、自分の意思表示ができるようになる

活動場所	中央公民館	対象学区区名	西条市内全域(小学校)	子どもの平均参加人数	16 人/日
開催日数 曜日・時間	土曜日	6 日	13 : 30 ~ 15 : 30	活動のべ日数	6 日
	日・休業日等	日	: ~ :		
協働活動サポーターのべ人数	人			ボランティアのべ人数	21 人
参加者募集	広報さいじょうに掲載 各小学校を通じてチラシを配布		連携・協力 機関・団体	愛媛県美術館(学芸員)	

## 取組の概要

＜主な取組内容＞ (1)「大きな風船」 (2)「藍染め+くるくる」 (3)「対話型鑑賞」 (4)「モノタイプ版画」  
(5)「工作 布で形をつくろう」 (6)「アートカードゲーム」



布袋に洗濯ばさみや輪ゴムで絞り模様を作り、少し布を洗ってから藍染め液に浸け、液がよく染み込むように揉みます。後は、水洗いして乾かして出来上がりました。



### ●藍染め+くるくる



### ●モノタイプ版画

まず、塩ビ版の表面を紙やすりでこすり、トレッシングペーパーに下絵を描き、裏返して水彩絵の具で塩ビ版に絵を写し描いて塩ビ版の絵を乾かす。少し湿らせた版画用紙に塩ビ版の絵の具で描いた方を重ねてプレスしたら版画が出来上がりました。



### ●工作 布で形をつくろう



## 児童・生徒の感想

- ・楽しかったことは、藍染め+くるくるです。藍染めはゴムで縛る強さによって色が違います。くるくるは羽の大きさを変えることで落ちる速さや動いたりする距離が違います。この1年でいろいろなことを学べました。
- ・全部楽しかったです。お友達ができてうれしかったです。またやりたいです。勉強する良い機会になりました。
- ・工作「布で形をつくろう」が楽しかったです。いらぬ服で綿をつめたりポンをつけたり、いろいろ工夫してつくりました。服でうさぎなどが作れて楽しかった。
- ・工作「布で形をつくろう」が楽しかったです。私は犬をつくりました。服にフリルがついていたのでそこを犬の服にすることや、手足を工夫しました。でも手足がなかなか上手くできなくてむずかしかったです。

## ＜特色ある取組＞

### ●愛媛県美術館学芸員による指導

芸術活動、鑑賞のプロが考えたプログラムを実施しているので、新しい体験が多く、一般では手に入れにくい材料を使って制作ができる。

## 事業を実施して

### 【成果】

- 初めての体験にワクワクしながら取り組み、工作などの楽しさを実感できた。
- 対話型鑑賞では、作品をじっくりみて感じたことを話し合い、いろいろな人の考えを聴くことができた。

### 【課題】

- 毎年、人気のワークショップで応募者が多く、参加者は抽選で決定しており、より多くの子どもの体験の機会を増やすことが課題である。